

学費減免

STREET ACTION

12/20
(Sun)



カネが無くても学ばせる!!
奨学金には徳政令を!



渋谷サウンドデモ

JR 渋谷駅ハチ公前広場街頭アピール 12時30分～
神宮通公園集合 15時 デモ出発 15時30分～

主催：全学連

www.zengakuren.jp

Twitter: @Zengakuren

《わたしたちの学びは 不要不急ですか？》

こんにちは。わたしたちは全日本学生自治会総連合（全学連）です。

新型コロナウイルス感染症の拡大によって経済活動が停止し、全国の大学生はバイト先を暇を出された一方で、高額な学費はこれまで通り払わなくてはならないという非常に苦しい状況に立たされました。ある学生団体の今年4月の調査では、5人に1人の学生が退学を検討しているという結果が出ているほどです。

これを受けて、全国200以上の大学で学費の減免を求める取り組みが開始されました。この運動の広がり、当初7億円（学生1人当たりたった270円）しか政府の予算が準備されていなかった状況から、困窮学生への10万円支給や各大学での経済支援策を実現させました。しかしながら、これらの政策はまだまだ続く経済不況の中のその場しのぎにしかなくなっていません。そもそも学費が高すぎるのです。

コロナ不況が始まるずっと前から、学生の困窮は続いてきました。国立大学の学費は物価の変動を計算に入れたとしても、45年前から実質10倍以上に膨れ上がっています。現在、国立大学に通う学生は、年間54万円もの学費をバイト代や奨学金という名の借金でまかっています。さらに学費の高い私立大学の学生の状況はより深刻です。

これは、社会的な財産であるはずの教育や学問をただのサービスへと変え、そのコストを学生に自己負担させる政策が政府によって進められてきた結果です。お金の有無で学ぶ権利が奪われることは、本来あってはなりません。

さらにコロナ不況での経営悪化を理由に、学費を値上げしようという動きまで始まっています。東京女子医科大学では、来年度入学生から卒業までの学費の1200万円もの増額が狙われています。この流れを止めるためには、学生が声を上げ続けることが必要です。

《声明》我々学生は、政権による日本学術会議会員候補6名への任命拒否を非難し、大学の運営権を学生の手に取り戻す闘いをもってこれに報いる。

高くなり続ける学費と、学生の商品化にともなう管理教育の強化が長年続いたせいで、学生はお金も時間もなくされ、社会問題に取り組む機会・政治について考えるきっかけを奪われてきました。今回の任命拒否は5年前の「平和安全法」強行採決の時のような事態を2度と起こさないために全国大学を解体しようという試みであり、これは学生を長年に渡って弾圧し続けたことにより可能になりました。わたしたちは、改めて大学の主権を学生を含めた大学に取り戻すべく、全国のキャンパスで、街頭で行動に出ます。学生の反転攻勢に皆さんの応援を！！

※2015年6月4日、自民党が国会に提出した「安保関連法」に関する衆議院の憲法審査会で、自民党に招かれた憲法学者3名が全員「安保関連法」は憲法違反であるとの見解を示し、世間は一時騒然となった。菅政権は、このような痴態を決して繰り返したくないのだ。

Thank you for your contribution !
カンパのご協力に感謝していますm(_ _)m



●郵便振替
00190-0-766112
ゼンホガクセイカイケツコウ

●他金融機関からの振込
店名 〇一九（ゼロイチキユウ）
店番 019
預金種目 普通預金
口座番号 0766112

5月1日文科省申し入れ行動